

人がつながる次代を創る

～思いやりのあるまちづくり～



松原市議会議員
自由民主党

ささもと ゆうじ

活動報告
vol.13

令和4年度がスタートしました。新たな出会いや別れが多い時期ではありますが、平成26年3月に市役所を退職してこの道に進んでから、多くの方々との出会いが私の人生を豊かにしてくれました。4年ごとの節目の時期を今夏に迎えるにあたり、気持ちを新たに、より一層政務活動に励んでまいります。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

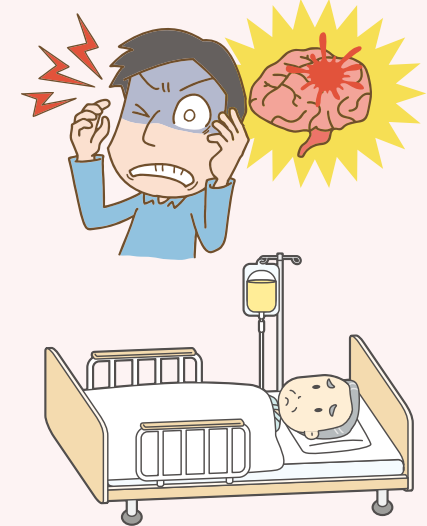


ひとごとではないひとことコラム



私の今の関心ごと・困りごと

最近、皆さんの周辺で特に脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）で倒れている人が多くないですか？
特に高齢者に多く見られますが、現役世代の人が突然命を落とす事案も数件続いており、放っておいて良い現象ではないように思います。



所要時間1分のアンケートに
是非ご協力ください。

アンケートはこちらから→



議会報告

【令和4年 第1回定例会(3月議会)】

代表質問

◆「脱炭素社会の実現に向けた取組みについて」

問 令和2年12月では地球温暖化防止対策に関して市の取組みや考え方を問い、令和3年9月では脱炭素社会実現に向けてこちらから様々な提案をした。この度の施政方針には市民・市内事業者・行政の三者で脱炭素の取組みを進めていくと力強い意志を示された。具体的にはどういう取組みをしていられるのか。

質問の様子は
こちらからご覧
いただけます。→



答 市域全体では自然が有する機能を活かし、グリーンインフラの活用を行い、市民の皆様には各種イベントや学校での環境教育を行ってまいります。市内事業者には国や府・商工会議所等と連携し、先ずは実態やニーズの把握に努め、新たな制度の確立に繋げてまいります。



◆「3度目の認証に向けたセーフコミュニティの更なる取組みとは」

問 令和5年度には3度目のセーフコミュニティの認証を受けるということだが、町会を始めとした各種団体の高齢化が進み、地域力が弱まっている。これまでと同じ取組みでは市民に広く伝わらないのではと懸念するところ。市として、今後新たな取組みをどう考えているか。

答 子育て支援や地域安全活動、地域防災活動に取組むNPO法人3団体と市内4つの高校が、新たにセーフコミュニティ活動へ参画され、協働の輪がさらに広がりを見せている。活動内容を市民に知って頂き、個人でも取り組めたり、有志の活動にもSC内の機関を繋げていくなどして取り組んでまいります。

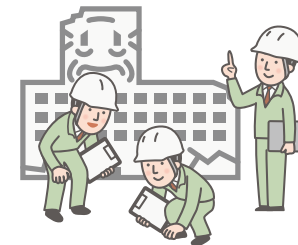


◆「少子高齢化人口減少、社会保障経費の増大、また公共施設等総合管理計画に基づいた後年度負担の発生等、総合的見地から今後の収支をどう見通すか」

問 これまで何度となく将来に向けた収支の見通しを市民に示すべきだと訴えてきた。行財政改革を進めてきたことで健全財政を維持しているとの説明が繰り返されるが、老朽化した数多くの公共施設の多額の費用を要する更新が待っており、予防保全による長寿命化計画を遂行するには財政運営の見通しが必要。もう着手すべきではないか。

答 これまでの行財政改革により、新たな収入も今後大きく見込まれる。社会保障経費も年々増えると共に公共施設の更新も迫っている。しかし、長寿化による負担の平準化を図るなど、将来的な影響がより少なくなるよう努め、持続可能な財政運営を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染の影響などにより、今後の税収が予測しにくい状況だが、財政収支の推計は中長期的な財政運営を検討する為の手がかりであるため、しっかりと研究してまいります。



議会報告 【令和4年 第1回定例会(3月議会)】

総務建設委員会協議会一般質問

①ごみ出し支援の推進とそれに対応しうる、ごみ収集体制の確立について



高齢化に伴いごみ出しが困難な家庭が増えていることから、令和2年9月議会で戸別収集の拡充をお願いしたところ、市内約350か所あるステーション収集は軽ダンプ車でも入ることが出来るため、令和4年度より要望のある所から順次市が収集することになりました。今後、ごみ出し支援が更に進みます。

また、高齢化が進む職員の収集体制を整える為、災害時にも対応できる今後の採用計画も同時にしっかりと考えると回答を得ました。

②きれいなまちづくりの強化について

平成9年から施行された「きれいなまちづくり条例」も平成26年に迷惑行為に対して過料が課されることとなり、現在に至ります。

しかし、中でも「たばこのポイ捨て」が一向に止まりません。受動喫煙による健康被害、灰による火傷等やポイ捨てによる火災などが起こってからでは遅い為、「路上喫煙防止」を条例に盛り込むことを要望しました。調査研究をして強化に努めるとの回答を得ました。



市への働きかけの進捗状況と現状の取組み

1 高齢者等に対する「ゴミ出し支援」の推進を!

松原市内にはパッカー車で入れない狭い道が多い為、ステーション収集が数多く残っています。高齢化によってゴミ出しが困難になっている実情を一昨年に訴え、軽ダンプ車による戸別収集への転換を今年から順次始めて頂くことになりました。「ふれあい収集」と共に生活弱者にやさしいまちづくりを目指します。



2 行政の責任の下で「児童発達支援」の充実を!

支援が必要な「発達に特性のある子ども達」の為に「放課後等デイサービス」の利用者数がうなぎ上りです。平成24年度からの予算はなんと10年余りで10倍を超え、令和4年度予算は8億円強。支援学級数も増え続け、今まさに的確な対応が求められています。現在の国の補助制度下では困難としながらも「旧松原市立第4保育所」を転用し、身近で支援を受けられる障害児通所事業所の中核機関とするべきだと訴えています。

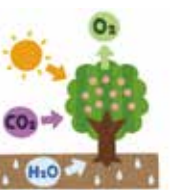
3 「ぐるりん号」を利便性向上のためオンデマンドに転換すべき!

利用者はほぼ元希者世代。公共施設以外に買い物や病院への利用が多く、バス停が遠い方は利用がしにくいのが現状。時間も多くなり、「空」で走っている時間帯も多いことから費用対効果の良い「オンデマンドバス」への転換を訴えています。市も真剣に調査研究してくれてはいますが、やはり「特に高齢者が平等に使える公共交通」に見直すべきだと訴えています。現在、大阪市が同じやり方の実証実験を行っており、参考にします。



4 「地球温暖化防止対策」には市民協働の取組みを!

従来からの要望により、今年の施政方針に明確な打ち出しがされ、今年度からCO2排出抑制に向け市民と市内企業と行政が共に連携して取り組む事業がようやく予算化されました。2050年カーボンニュートラルを目指し、出来ることから少しずつ、皆さんと共に一歩を踏み出す時がやってきました!



5 「防災士」の更なる育成と地域防災力の向上を!

全国各地で災害が激甚化・頻発化しています。少子高齢化の進展で「地域力」が弱まる中で、若き防災リーダーをより一層育成すると共に、自助共助を強化することで「地域防災力」の向上を目指します。各自主防災組織などの皆さんを先頭に、私が立ち上げに関わった「NPO法人松原防災士会」もその役割を担い始めています。



松原防災士会のHP

6 「地域猫活動」の普及拡大の支援

野良猫を介した住民間のトラブルが多発。野良猫対策にはTNR(捕獲・避妊去勢手術・元に戻す)をし、地域で世話をする「地域猫活動」の効果が全国で立証され、環境省が推奨しています。住民が安心快適に過ごすための一つの方法ですが、まだまだ認知度が低く理解が進んでいません。「地域住民・ボランティア・行政」の協力体制での住みよいまちづくりにご理解とご協力をお願いします。



活動報告は、公式ホームページ・ブログ・Facebookでもご覧いただけます。

公式ホームページ

<http://y-sasamoto.sakura.ne.jp>

ささもとゆうじ 検索

ブログ(ゆうさんのブログ)

<http://ameblo.jp/yuusan-0716/>



スマートフォンからはこちらのQRコードをご利用ください。



Facebookでは「ささもとゆうじ」で検索

●市政相談は随時 ●育児・発達相談も随時(予約要/保育士の妻が対応)

市政に対するご要望、ご相談がございましたらお気軽にご連絡ください。

〒580-0033 大阪府松原市天美南4-10-3

携帯電話: 090-1445-1086 TEL/FAX: 072-283-1414

E-mail: y.sasamoto@pink.zaq.jp

